

宗茂肖像画の伝来秘話

～立花家史料館に託されている柳川の宝もの～

公益財団法人立花財団 立花家史料館 坪内広子

NHK 大河ドラマ招致活動によって、テレビなどで初代柳川藩主・立花宗茂の名前を見る機会が増えてきました。立花家史料館が所蔵している写真の「立花宗茂肖像画」を、見たことがある人は多いのではないのでしょうか。

この肖像画は、宗茂の13回忌にあたる承応3(1654)年に制作されました。絵師は不明ですが、頭上の文章を書いたのは、宗茂と交流があった禅僧・藍溪宗瑛です。礼服である黒い束帯をまとう壮年の宗茂が描かれています。顔の輪郭や長めのもみあげが特徴的で、宗茂の実像に似せたのでしょう。

貞享5(1688)年、この肖像画が傷んできたため、宗茂の孫にあたる3代藩主・鑑虎は、理想化された顔立ちの宗茂を描いた肖像画を新たに作らせました。新しい肖像画は、宗茂の菩提寺だった京都の大徳寺大慈院で大切に伝えられていきましたが、元の肖像画はひっそりと柳川の立花家に伝来しました。昭和62年、立花家の蔵で行われた本格的な学術調査で、写真の肖像画は痛んだ状態で発見されました。約300年もの間、この肖像画が世に出ることはなかったようです。

この学術調査が、立花家史料館設立の契機となりました。設立から現在まで、調査研究や保存公開、教育普及という博物館活動に努めてきました。活動の中で写真の肖像画は修理され、展覧会やメディアによって広く全国に知られつつありましたが、コロナ禍が当館の活動を妨げました。入館料を主な収入源とする当館にとって、コロナ禍の影響はあまりに甚大でした。

写真の肖像画をはじめ、国宝1件と重要文化財3件を含む柳川藩主伝来資料3万点を柳川から散逸させないため、当館はクラウドファンディングを実施しました。昨年12月11日からの52日間、想像をはるかに超えるスピードで支援の輪が広がり、1300人もの方から多大な援助が集まりました。全国各地から続々と寄せられる激励の声はとても温かで力強く、関係者一同感謝の気持ちでいっぱいです。

まだ楽観できない状況ですが、柳川に初代藩主として返り咲いた宗茂や、今回紹介した肖像画のよう



立花家史料館蔵「立花宗茂肖像画」

な復活を目指して、当館は支えてくれる多くの人と共に、柳川の宝を守るための努力を続けていきます。

肖像画は5月10日まで立花家史料館の特集展示「宗茂の魅力、再発見」で展示中です。詳しくは、同館のウェブサイトをご確認ください。



立花家史料館

ひとを結ぶ。まちを結ぶ。column No.78

地域おこし協力隊

柳川の伝統と四季の彩りをテーマにした観光列車「水都」



「水都」に乗ったらぜひ2号車の認定品コーナーへ

西鉄電車を利用している人にはおなじみの柳川観光列車「水都」。柳川の伝統と四季の彩りをテーマにした外観や内装が特徴です。6両全て見ると、柳川の文化がダイジェストで分かる構成になっています。西鉄電車が走る沿線に柳川をPRしてくれる頼もしい広告塔です。

その2号車に柳川ブランド認定品の展示コーナーがあるのを知っていますか。3月初め、この展示コーナーを模様替えするために、筑紫野の車両基地へ行ってきました。今回の模様替えで、展示棚の中には今年新たに認定品となった2商品「万能 Saku サクのり」「イ草フラワー」が登場。もちろん、その他の認定品の一部も展示コーナーで紹介しています。

普段西鉄電車を利用している人はもちろん、コロナ禍での短距離旅行を楽しもうとしている皆さん、水都に乗る機会があったら、ぜひ2号車の柳川ブランド認定品コーナーを探してください。きっと皆さんがこれまで知らなかった柳川の特産品に出会えると思います。



堤 圭 (53歳)

【プロフィール】市商工・ブランド振興課に所属。柳川特産品の販売・PRなどを担当

柳川産海苔の風味を存分に味わえる「生海苔ピザ」



生海苔とピザ 相性抜群の味わいをぜひ

中村学園短期大学の教授であり、やながわ食の学校長、そして柳川観光大使でもある三堂徳孝教授らが開発した「生海苔」は、長年の研究によって一番おいしい状態かつ使いやすかたちに海苔を冷凍加工したものです。先日、両開の生海苔加工場で実際に加工作業を体験してきました。工場ですぐ驚いたのが、衛生面の厳しさ。髪の毛1本も見逃さないほどの管理体制でした。また、海苔は鮮度が命というだけあって、作業員の皆さんの手際の良さは圧巻。私は流れ作業についていくのに必死でした。出来上がった生海苔は、なめらかで旨みたっぷり。加工の大変さを体験した私にとって納得のおいしさです。この生海苔を使った新商品「生海苔ピザ」が、やながわ食の学校で誕生しました。監修は薬院にあるイタリアンレストラン La casa di Nao の石橋尚幸オーナーシェフ。3月の柳川むつごろうランドにぎわいイベントでは、たくさんの人にこのピザを味わっていただき大好評でした。4月以降もむつごろうランドでピザを味わえる企画をやっていく予定です。



齊藤 千絵 (33歳)

【プロフィール】市水産振興課に所属。食と人材づくりのコーディネーターを担当